

第20回 宍粟市総合教育会議

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年2月17日 午前11時00分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第20回 宍粟市総合教育会議 会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年2月17日（金） 午前11時00分～午後11時55分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

構成委員

福元晶三	市長	中田直人	教育長
片山繁樹	委員	金本一二	委員
飯田さおり	委員	中川まゆみ	委員

事務局

大谷奈雅子	教育部長	小河秀義	教育部次長
進藤美穂	次長兼教育総務課長	岩薮貴裕	こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	谷尻博誉	学校教育課長
水口恵子	社会教育文化財課長	池本雅彦	次長兼山崎学校給食センター所長
中尾善弘	次長兼まちづくり推進課長	岩本浩二	教育総務課副課長

1 開会

● 福元市長あいさつ

朝早くからの教育委員会、御苦勞様でございます。

引き続き、総合教育会議となりますが、よろしく申し上げます。

先ほど金本委員と少しお話ししましたが、先月の総合教育会議のあと、市内は大変な大雪となりました。皆さんの地元でもかなり積もったことと思います。一昨日に、スキー大会の下見を兼ねてちくさ高原で会議がありました。スキー場はナイター営業中だったのですが、若い方から高齢者の方まで、たくさんのスキーヤーが楽しんでおられました。特に冬場、スキー場に多くの来場者があることは、北部地域が活気づいて非常にいいなと感じました。

新型コロナの関係では、3月13日からマスク着用の見直しがあります。学校の卒業式等の関係で教育委員会でも議論をいただいていることかと思えます。宍粟市の対策本部としても方針を決定しなくてはなりません。

いろいろなことが目まぐるしく変わる状況ではありますが、本日の会議につきまして、よろしく申し上げます。

2 協議報告事項

(1) 宍粟市のスポーツの推進に向けて ～市長部局への事務移管の検討～

● 福元市長より説明

お手元の資料に基づき概略を説明します。

ご存じのとおり、宍粟市スポーツ推進計画がこの3月に策定されます。令和5年度からはこの計画に基づき、スポーツを通じての心身の健康であったり、幸福感であったり、ひいては仲間づくり、同時に地域づくりを進めていこうと、こういう思いで策定した計画であります。

スポーツの持っている役割について、今さら言うところではないのですが、市民の皆さんが健康で、いつまでも元気に過ごしていただくために、それぞれの年齢や体力等に応じて、スポーツに親しんでいただくことが大切だと考えています。

ただ学校教育等におきましては、これまでも議論いただいておりますが、部活動の問題が課題としてあります。これについては、教育委員会でも議論いただいておりますが、今後検討していく必要があります。

資料4 Pにありますスポーツ推進計画の基本理念は、「スポーツを通し 元気で生きがいあふれる 健幸のまち」で、健康の「康（こう）」が「幸（こう）」になっていることも含めて、こういう基本理念の中で、3つの基本目標を定めて、具体的に施策を展開していこうと考えております。

宍粟市は合併して17年が経過しているところではありますが、スポーツを通しての基本的な考え方を整理するというのは初めてでありまして、こういった計画・目標をつくって、これから施策を一つずつ展開していく中で、市民の皆さん、また、スポーツ団体と協働で、先ほどの目標に向かって進めていくことが大事だと思います。

スポーツについては、従来は教育委員会ですべて所管していただいておりますが、現在は市長部局のまちづくり推進課が、補助執行という方式で事務を執行しております。この「補助執行」という方式から「事務移管」という方式に移行する方向で検討を進めていきたいと考えています。

次の5～6 Pをご覧ください。現在は、市長部局のまちづくり推進課にスポーツ推進室を設置して、そのまちづくり推進課の中で、スポーツを通じた地域づくり・人づくり、さらにはそこから発展させて体力向上や健康増進へ、市長部局には健康福祉部もありますので、そことも連携をしながら、市民の健幸、先ほど申し上げた健康の「健」と「幸せ」を組み合わせた造語ではありますが、この「健幸」をめざしていきたいと考え、今も施策を推進しています。

スポーツの事務を市長部局において管理執行する方式は、ここに書かれておりますとおり3つの方式があります。

従来は教育委員会ですべて所管されておりましたが、現在は、6 Pの①補助執行という方式、教育委員会が事務の管理執行権を有しており、それを念頭に置きながら、市長部局が補助的に執行している方式であります。

これ以外には、6 Pの②事務委任という方式、③事務移管という方式がありますが、より効率的に、よりスピーディーに施策を展開する意味において、また、今日的なスポーツを含めた健康管理を行うためには、③の事務移管という方式がベターではないかと、市としては考えています。

今後の予定ではありますが、7 Pに書いておりますとおり、本日の総合教育会議で審議いただき、それを市として整理させていただいて、また、スポーツ関連団体等への意見聴取

も行いながら、7月を目途に、総合教育会議での2回目の審議を行う予定としております。

最終的には、令和5年12月議会に関連議案を上程し、市議会のなかで審議していただきたいと考えており、令和6年4月からは、補助執行から事務移管に方式をあらためて、市長部局で、スポーツに関する事務を責任を持ってやっていこうと、こういう流れで考えています。

市民の皆さんに今までいろんな形でお話をうかがってきました。現在は、補助執行という方式で事務を進めておりますが、従来と現在とで大きく乖離があったとは感じておりません。ただ行政的には、今後、市長部局か教育委員会かということで、大きな違いが出てきますので、繰り返しになりますが、教育委員の皆さんからご意見をいただき、また、課題や提言もいただきながら、先ほど申し上げた方向で進めさせていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

● 小河次長

2月10日の神戸新聞に少し掲載されていましたが、兵庫県におきましてもスポーツ行政を総合的に推進していくため知事部局に事務を移管する予定とのことで、報道されております。

宍粟市の場合は、平成27年から補助執行という方式をとっておりますが、今回、スポーツ推進計画が策定されたことを契機に、先ほど市長がおっしゃった方向で検討を進めていこうとしています。よろしくお願いいたします。

● 委員からの意見及び質問並びに事務局からの回答等

(片山委員)

兵庫県のスポーツ部門が知事部局に移管されるという記事は、私も拝見しました。宍粟市におきましても、スポーツ推進計画が3月にきちんと策定されるということも含めて、検討して進めていただければと思います。

(福元市長)

今後の予定を申し上げたとおり、内部で課題の整理であったり、また、関係団体からの意見も十分におうかがいしながら、次の総合教育会議ではそれらを踏まえ、ご報告させていただき、協議させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(2) 宍粟市の学校給食費について ～持続可能な給食運営のために～

● 福元市長から説明

具体的な説明は、所長からあるかと思いますが、現在の学校給食費は220～240円となっています。何とか現在の給食費を維持していきたいと考えておりますが、財源や物価高騰等の状況を勘案しますと、厳しい状況が続いています。令和5年度については、一般財源を投入して、今年度並みの状況で進めていきたいと思っておりますが、これがいつまでも続く状況ではありません。また同時に、県・全国とも事例は少ないです

が、子育て環境の整備ということで、給食費の無償化という動きも徐々に出てきております。自治体間の競争も激しくなっていますが、それはそれとして、つぶさに保護者の皆さん、地域の皆さんに、給食の現状をご説明する中で、可能であれば給食費の増額についても説明させていただき、ご意見をお聞きしたいと考えています。今後、説明会をさせていただき、そこでいただいたご意見をふまえて、教育委員会と協議しながら、最終決定をしていきたいと思っております。

● **池本次長兼山崎学校給食センター所長から説明**

資料8～10Pにより、学校給食費の構成、食材費から案分した令和4年度の学校給食費、今後の見込み、近隣他市の状況、今後のスケジュール等について、池本次長兼山崎学校給食センター所長が説明した。

● **福元市長から補足説明**

令和4年度については国の臨時交付金、これにより物価高騰に対応しました。また第3子以降の無償化対応としましても、一般財源を投入しています。これらの合計は約5,000万円となります。

この状況について、市民の皆さまにしっかりと説明をさせていただきながら、一般財源をそこまで投入するのはどうなのか、また、保護者として負担するので給食の質は守ってほしいであるとか、そういった議論を行う必要があると考えています。

現状の質を担保しようとするれば、52円～92円の値上げが必要となる状況であることを詳細に説明し、議論していただいたうえで、この総合教育会議や教育委員会で政策判断をして議会に提案していきたいと考えています。

政策的に非常に悩みますが、現状を保護者の皆さまにお伝えし、意見を伺いたいと思っております。教育委員の皆さまの意見もお聞かせください。

● **委員からの意見及び質問並びに事務局からの回答等**

(飯田委員)

給食甲子園で日本一になったということ、宍粟の給食の質は本当に素晴らしいとあらためて思います。加えて兵庫県で一番安いということで、理想としては、この1年間は日本一の給食が無料など、インパクトのある施策を行うことはできないか。ただ、今の皆さんの説明をうかがうと難しいかと思われ、値上げも止む無しかと思っております。

(片山委員)

大阪市が今まで臨時的に行っていた給食費無償化を、恒久的にするとのニュースがありました。大きな市であれば、財源を額保できるのかなと感じました。

また、別のニュースでは首相が子どもに関連する予算を倍にする等の話があり、場合によっては給食費の無償化に使える財源になるかもしれないと思われました。

ただ宍粟市の場合は、財源状態に余裕があるとは言いづらい。子育て世代の方にたくさん予算を投入してほしい思いもあるが、一方で、身の回りの道路の改修なども優先順位が低いとのことでなかなか改修されないケースもあります。

首相の話では財源は明言されてないようですが、国の予算には期待をしているところです。

(中川委員)

国の流れとして、子育て支援に力を入れようとするが、一方で、世帯の収入はそんなに伸びていません。この状況の中で、給食費の値上げの説明は本当に難しいと思います。加えて、質は落としてほしくない。

今のそれぞれ共働きも増えた家庭の中で、栄養バランスを毎回考えた食事はできない場合も多いと思います。やはりその部分を給食で補っていただければと思います。

保護者の皆さまに現状を説明し、給食費のことを一緒に考えていく必要があると思います。

(金本委員)

宍粟の給食は病気にならない給食かと思います。塩分や糖分にも注意してもらっています。フランスでは血圧の高い人が多すぎた時代に、パンの塩分を減らすことを国策として実施し、長い時間をかけてだんだん減らしていったと聞いたことがあります。この話から考えても、今の給食はものすごく大事だと思います。給食費の負担をしてでも子どもに食べさせる必要があることを、保護者の皆さまに説明していくことも大事かと思います。

(福元市長)

本来は食育という観点の中で、学校教育において給食費は国が負担すべきものではないかと考えています。すぐに対応してもらえるものではありませんが、引き続き、地方の声を届けていきたいと思います。

(福元市長)

保護者の皆さま、地域の皆さまには、丁寧に宍粟の現状の給食費の説明をする中で、ご意見をうかがい進めていくということによろしいでしょうか。

(委員一同)

(異議なし)

4 閉会

● 中田教育長あいさつ

令和6年度に向けて、2つの議案でした。

1点目のスポーツ振興については、県と同じタイミングとなっています。今日はあまり深い

話はありませんでしたが、大事な論点の一つが、部活動の地域移行になります。

このほど、国は令和7年度までの移行期間という言い方を、改革の推進期間という言い方に変え、少しトーンダウンした印象です。地域の実情がそれぞれ違うなか、国が一律に期限を決めるやり方は適切でないということで、この方針転換は大いに受け入れるべきかと思います。

私は、最終的に部活動は学習指導要領の変更により、教育活動の一環から外れると見ています。学校単位での活動が地域単位に変わろうとしていく中で、補助執行という方式から事務移管という方式に変えようとするのは、タイミング的に適切と考えています。

2点目の給食費については、さまざまな意見がある中で、我々も責任ある議論を展開しなければなりません。

学校給食を含めて、理想的には、公立の小中学校に関わるものとするれば、全てのものが無償であることが望ましいと思いますが、一方で、学校給食法という法律のなかで、保護者に対しては、人件費や設備は別にして、食材に関わることについては負担をお願いすることが定められています。

そのことから子どもが食べる食材については、保護者の負担をお願いしたい。言葉は少し適切ではないかもしれませんが、ある意味、保護者の責務であるとも思います。

そういったことを念頭に置きながら、今日、委員の皆さんから意見を聞かせていただきましたので、それもふまえながら、説明・議論を重ねていき、今後も、子どもたちの笑顔につながる学校給食を展開できるよう努めていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。